

科目名	社会福祉演習Ⅱ F					単位	2.0
担当教員	小島 恵昭						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	3	授業番号	3229

●授業のテーマ

歴史学によるファミリーリズムの考察

●到達目標

調査データから読み取れる現代日本人がもつ家族の姿を知り、福祉社会の実現に対応できる能力を身につける。

●学習内容(授業概要)

ファミリーリズムは耳慣れない言葉であるが、米国の社会学者によって提唱された概念である。その意味するところは、個人にとって不可欠な、相互扶助（経済的なもののみならず、育児、老人介護、病人の看護等における労力の提供、支え合いも含まれる）及び感情的依存の要求を充足する集団の機能である。ファミリーリズムを担う集団は当然、家族であるかのように考えられがちであるが、前近代においては、ファミリーリズムは親族ネットワークや地域社会によって担われていた。今日、社会福祉が展開してきた理由として、家族や地域が脆弱なものになってきたからといわれる。福祉社会実現にファミリーリズムは不要なことなのか疑問である。一方、歴史学においても社会史という研究方法によって人びとの生活が明かされつつある。このような研究成果を援用しつつ、ファミリーリズムを考察してみたい。本年度は家族を研究対象とするが、例年のように農・山・漁村社会のフィールドワークにも出向く。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. 夏季休暇中のできごと（社会福祉現場実習など）について報告
2. 前期課題の報告(1) AさんBさんCさんの報告
3. 前期課題の報告(2) DさんEさんFさんの報告
4. 前期課題の報告(3) GさんHさんIさんの報告
5. 前期課題の報告(4) JさんKさんLさんMさんの報告とまとめ
6. 育児としての母と子のつながり
7. 育児としての父と子のつながり
8. 成人した子とのつながり：親からみた親子関係(前半)
9. 成人した子とのつながり：親からみた親子関係(後半)
10. 結婚した子と実親・義理の親とのつながり：子からみた親子関係(前半)
11. 結婚した子と実親・義理の親とのつながり：子からみた親子関係(後半)
12. 兄弟姉妹とのつながり
13. 援助資源としてのつながり(前半)
14. 援助資源としてのつながり(後半)
15. 次年度に向けて

●準備学習・事後学習の内容

毎回の授業のテーマごとに、予め下調べをすること。事後学習として毎回の授業のまとめと感想を書いてください。

●成績評価方法・基準

ゼミにおける調査・報告 25%、 毎回の授業のまとめと感想 25%、学期末のレポート試験 50%。

●テキスト（必携）

《No.1.》書籍名：現代日本人の家族；NFRJからみたその姿、著者名：藤見純子・西野理子編、出版社：有斐閣、販売先：（株）D○、備考：¥2,310

●参考文献／その他

授業時に指示。

●履修上の注意

不要な欠席は慎むこと。